

教育・文化

地域教育サポート・ネット事業

加藤俊彦議員(公明) 二地区教育サポート・ネット事業の活動状況は、他市の状況は、都からの補助金の内容は、事業をどう評価しているか、サポート・ネットのシステムづくりを目指すところがあるがどうなのか。今後の取り組みは、**教育長** 学校支援ボランティア養成のための講座を3年間で38講座開設し、講座修了後延べ520人が活動した。講座の内容は、ボランティア入門、学習支援等である。多摩地区では小平市と立川市で実施している。

講座・講演会等の講師謝金 消耗品費等で、補助金額は、平成15年度が86万5千円である。

学校の活性化等、効果が上がりつつあると認識している。

ボランティアと学校との調整役、相談役としてのコーディネーター組織を立ち上げており、今後ともこれまで培ったノウハウを生かし事業を展開していく。

小・中学校の家庭整備

佐野都夫議員(政和) 家庭のほりに対する苦情や家庭整備、スプリンクラー設置に関する要望はあるか。

校庭の芝生化についての検討状況はどうか。

学校ビオトープの整備の現状は、課題と今後の計画は、耐震化を中心とした学校施設整備の今後の予定は、教育長** ほりに対する苦情は1年間で3件あり、整備等に**

関する要望は本年度5校からあった。スプリンクラー設置の要望は9校からあった。

実験的に、第六小学校に芝生を植栽しており、他校へ波及できるものか研究したい。

小学校7校、中学校3校に設置している。維持管理等に課題があると聞いており、学校の計画に沿った整備の協力をする。

平成17年度は、小学校2校、中学校2校の耐震補強工事等を予定している。

四小のほのぼのワールドの評価と今後の展開

常松大介議員(緑) 第四小学校が独自の取り組みとして実施しているこのイベントを、市はどの程度評価しているか。

他校からの評価は、今後、行政としてどのようにバックアップしていくのか。

さらに他校への拡大を図ることは可能か。

教育長 この取り組みは、夏季休業日中に地域等の協力を得て、子どもたちが音楽や工芸等の体験活動を行うもので、子どもたちに豊かな心をはぐくむ、有意義な実践であると考え、各校が情報交換を行い、互いに評価し、工夫を重ねている。地域との連携による特色ある活動を実施している。

教育長 通学路は学校長が指定し、スクールゾーンは学校長

中学生の職場体験の場を福祉現場を

住田景子議員(緑) 将来の職業を思い描くために、さまざまな職場を肌で感じることは大切なことである。市は積極的に中学生に福祉現場を体験してもらえよう、もっと働きかけてほしいと考えるがどうか。

教育長 昨年度は中学校8校中6校で、高齢者施設や障害者施設、病院等において訪問体験活動を実施した。今年度も7校が実施することになっている。残りの1校も、福祉施設等における訪問体験の意義を十分に踏まえ、今後計画していく予定であると思うが、市の考えは、

荒れている通学路を補修し安全を保障するために

華表 曉議員(共産) 通学路とスクールゾーンの指定はだれがしているのか。

補修、点検はだれがどのようにしているのか。

事故等の発生件数は、カラー塗装がはげ落ち、標識が傾いている。今後どのような対応等を考えているか。

教育長 通学路は学校長が指定し、スクールゾーンは学校長

インターネット美術館及び少年少女図書館の開設

浅倉成樹議員(公明) インターネット美術館を開設し、平塚田中等、市ゆかりの芸術家の作品紹介や市民の作品を展示することは市民参加の美術館にもなると思うが、市の考えは、

「こどもとよかん」は既に開設されているが、これを発展させ、名作等を子ども年齢層に合わせた形で紹介することは大変有益なものと思うが、市の考えは、

教育長 平塚田中の作品については、作品紹介をふやすなどホームページの充実を図ってきたい。一般市民の作品公募は、公共施設等に展示する機会を多く設けているので、今後このような形で実施したい。

小・中学生向けのお薦め本を編集した冊子等を活用して、「こどもとよかん」の中で案内できるようにしたい。

学校給食には瓶牛乳が望ましい

木村まゆみ議員(共産) 牛乳を瓶から紙パックに変更する経過、及び市の方針は、保護者や教員への説明は、飲み残し牛乳の処理方法は、

学校給食の瓶牛乳を継続させよう

岩本博子議員(緑) 来年度より給食用牛乳が瓶から紙パックに変わる可能性が大きい。その経緯と市の姿勢は、都からの変更という方針に対して教育委員会の見解は、環境の観点から、紙パックの問題点は、

市で紙パックを資源回収した場合の年間処理コストは、**教育長** 牛乳供給業者が撤退する予定で、瓶で供給できる業者がないため、紙パックになる予定だと都から聞いている。

小・中学校の情報教育

永田政弘議員(政和) 情報インフラ整備の進捗状況は、教員の研修・指導体制は、情報ボランティアの活用は、教員へのサポートは今後どういう予定を進めるのか。

小六児童殺傷事件とインターネットとの関連はどうか。

教育長 小学校に28台、中学

特別支援教育

苗村洋子議員(緑) 現在の準備状況はどの程度か。今後の予定はどうか。都の指示を待つのではなく、市として進めていけることがあるのでは、障害のある子どもが、地域の学校でともに学べるようになるために最も必要なことは何か。

教育長 教育委員会事務局内に検討委員会を設置し、研究を進めている。また、教員の研修充実にも努めるとともに、校長等による研究部会を設け、基礎的な研究を進めている。

教員研修の充実と軽度発達障害の専門家の確保を、準備すべきことと考え努力している。

家庭・学校等が連携して、児童・生徒の個に応じた指導計画を考え、必要な内容・時間だけ特別な教育ニーズに応じた指導を受けることができるシステムを整えることと考える。

緑のカーテンに小平市も取り組もう

津本裕子議員(公明) 緑のカーテンに対する市の認識は、実施する際の費用の概算、エアコンの設置との比較は、総合学習として取り組むこと

が警察に依頼し、公安委員会が決定している。

市長 路面表示等の点検は、交通安全施設の点検と合わせて交通安全の担当所管が定期的に行っている。補修は状況に応じて市の判断で実施している。

教育長 交通事故件数は、平成15年度が16件、このうちスクールゾーンでは2件、平成16年度は7月まで発生していない。

市長 緊急度の高い箇所から段階的に整備を検討したい。

環境面からの市長の見解は、瓶牛乳継続のため、業者選定に市の努力を求めるが見解は、教育長** 小平市を含む区域の瓶牛乳供給業者が、平成17年度以降撤退し、この区域は紙パックとなる予定であると都から連絡を受けている。市は、瓶での供給を依頼しているが、供給業者がなく、厳しい状況である。決定次第、必要な時期に説明したいと考えている。**

供給業者が回収するほか、給食室等で油性分除外施設を通して下水道に流している。

市長 一般的には紙製容器より、リターナブル瓶が環境負荷は少ないと考える。

教育長 現在、市と個別契約に応じる業者はないと考える。

現在の給食メニュー

パソコン教育と情報リテラシー

岩本博子議員(緑) インターネットなどのつき合い方を、子ども自身で考えるようにするための情報リテラシー教育が必要と考えるが現状は、パソコンの指導ができる教員は全体の何割か。教員への研修はどのように行われているか。

保護者に向けた教育についてどのように考えているか。

教育長 小学校14校、中学校7校で総合的な学習の時間などで、情報モラルの育成を図る指導を行っている。

約52%である。各学校の担当教員を対象とした研修等を計画的に進めており、インターネットを利用する際のマナー・ルール等についての研修も行って

若者の雇用対策

加藤俊彦議員(公明) こだいら就職情報室の概要と現在のサポート状況はどうか。

政府は若者自立・挑戦プランを策定し、就職支援を開始した。その一環で各都道府県が運営するジョブカフェがオープンしたが、こだいら就職情報室にこうした事業を導入できないか。

小・中学校で、職業体験活動等の土曜授業が実施できないか。

掲載分以外の質問項目

【環境・上下水】

生ごみリサイクルをこみ減量の重点施策にせよ

【公園・用水】

すてきなグリーンロードにむかって

【道路】

小川橋交差点の安全は確保されたのか

危険箇所のチェックの想定は、東部公園付近の防犯上の安全対策はとられているか。

スクールゾーンの表示等はどの箇所に設置されているか。父母等が行っている安全パトロールとの連携は、通学路全般の危険箇所の改善は行われているか。

市長 通学路を含む児童の安全確保に力を入れている。危険箇所は、交通誘導員の配置等により、安全確保に努めている。公園灯の設置や樹木の剪定を行い、防犯に努めている。

道路の進入部分に路面表示及び標識を設置している。

教育長 地域からの情報に基づいて関係課へ改善要請を行い、標識設置等の安全対策を講じている。

学校給食の瓶牛乳を継続させよう

岩本博子議員(緑) 来年度より給食用牛乳が瓶から紙パックに変わる可能性が大きい。その経緯と市の姿勢は、都からの変更という方針に対して教育委員会の見解は、環境の観点から、紙パックの問題点は、

市で紙パックを資源回収した場合の年間処理コストは、**教育長** 牛乳供給業者が撤退する予定で、瓶で供給できる業者がないため、紙パックになる予定だと都から聞いている。

小・中学校の情報教育

永田政弘議員(政和) 情報インフラ整備の進捗状況は、教員の研修・指導体制は、情報ボランティアの活用は、教員へのサポートは今後どういう予定を進めるのか。

小六児童殺傷事件とインターネットとの関連はどうか。

教育長 小学校に28台、中学

特別支援教育

苗村洋子議員(緑) 現在の準備状況はどの程度か。今後の予定はどうか。都の指示を待つのではなく、市として進めていけることがあるのでは、障害のある子どもが、地域の学校でともに学べるようになるために最も必要なことは何か。

教育長 教育委員会事務局内に検討委員会を設置し、研究を進めている。また、教員の研修充実にも努めるとともに、校長等による研究部会を設け、基礎的な研究を進めている。

教員研修の充実と軽度発達障害の専門家の確保を、準備すべきことと考え努力している。

家庭・学校等が連携して、児童・生徒の個に応じた指導計画を考え、必要な内容・時間だけ特別な教育ニーズに応じた指導を受けることができるシステムを整えることと考える。

緑のカーテンに小平市も取り組もう

津本裕子議員(公明) 緑のカーテンに対する市の認識は、実施する際の費用の概算、エアコンの設置との比較は、総合学習として取り組むこと

が警察に依頼し、公安委員会が決定している。

市長 路面表示等の点検は、交通安全施設の点検と合わせて交通安全の担当所管が定期的に行っている。補修は状況に応じて市の判断で実施している。

教育長 交通事故件数は、平成15年度が16件、このうちスクールゾーンでは2件、平成16年度は7月まで発生していない。

市長 緊急度の高い箇所から段階的に整備を検討したい。

環境面からの市長の見解は、瓶牛乳継続のため、業者選定に市の努力を求めるが見解は、教育長** 小平市を含む区域の瓶牛乳供給業者が、平成17年度以降撤退し、この区域は紙パックとなる予定であると都から連絡を受けている。市は、瓶での供給を依頼しているが、供給業者がなく、厳しい状況である。決定次第、必要な時期に説明したいと考えている。**

供給業者が回収するほか、給食室等で油性分除外施設を通して下水道に流している。

市長 一般的には紙製容器より、リターナブル瓶が環境負荷は少ないと考える。

教育長 現在、市と個別契約に応じる業者はないと考える。

現在の給食メニュー

パソコン教育と情報リテラシー

岩本博子議員(緑) インターネットなどのつき合い方を、子ども自身で考えるようにするための情報リテラシー教育が必要と考えるが現状は、パソコンの指導ができる教員は全体の何割か。教員への研修はどのように行われているか。

保護者に向けた教育についてどのように考えているか。

教育長 小学校14校、中学校7校で総合的な学習の時間などで、情報モラルの育成を図る指導を行っている。

約52%である。各学校の担当教員を対象とした研修等を計画的に進めており、インターネットを利用する際のマナー・ルール等についての研修も行って

若者の雇用対策

加藤俊彦議員(公明) こだいら就職情報室の概要と現在のサポート状況はどうか。

政府は若者自立・挑戦プランを策定し、就職支援を開始した。その一環で各都道府県が運営するジョブカフェがオープンしたが、こだいら就職情報室にこうした事業を導入できないか。

小・中学校で、職業体験活動等の土曜授業が実施できないか。

掲載分以外の質問項目

【環境・上下水】

生ごみリサイクルをこみ減量の重点施策にせよ

【公園・用水】

すてきなグリーンロードにむかって

【道路】

小川橋交差点の安全は確保されたのか

危険箇所のチェックの想定は、東部公園付近の防犯上の安全対策はとられているか。

スクールゾーンの表示等はどの箇所に設置されているか。父母等が行っている安全パトロールとの連携は、通学路全般の危険箇所の改善は行われているか。

市長 通学路を含む児童の安全確保に力を入れている。危険箇所は、交通誘導員の配置等により、安全確保に努めている。公園灯の設置や樹木の剪定を行い、防犯に努めている。

道路の進入部分に路面表示及び標識を設置している。

教育長 地域からの情報に基づいて関係課へ改善要請を行い、標識設置等の安全対策を講じている。

学校給食の瓶牛乳を継続させよう

岩本博子議員(緑) 来年度より給食用牛乳が瓶から紙パックに変わる可能性が大きい。その経緯と市の姿勢は、都からの変更という方針に対して教育委員会の見解は、環境の観点から、紙パックの問題点は、

市で紙パックを資源回収した場合の年間処理コストは、**教育長** 牛乳供給業者が撤退する予定で、瓶で供給できる業者がないため、紙パックになる予定だと都から聞いている。

小・中学校の情報教育

永田政弘議員(政和) 情報インフラ整備の進捗状況は、教員の研修・指導体制は、情報ボランティアの活用は、教員へのサポートは今後どういう予定を進めるのか。

小六児童殺傷事件とインターネットとの関連はどうか。

教育長 小学校に28台、中学

特別支援教育

苗村洋子議員(緑) 現在の準備状況はどの程度か。今後の予定はどうか。都の指示を待つのではなく、市として進めていけることがあるのでは、障害のある子どもが、地域の学校でともに学べるようになるために最も必要なことは何か。

教育長 教育委員会事務局内に検討委員会を設置し、研究を進めている。また、教員の研修充実にも努めるとともに、校長等による研究部会を設け、基礎的な研究を進めている。

教員研修の充実と軽度発達障害の専門家の確保を、準備すべきことと考え努力している。

家庭・学校等が連携して、児童・生徒の個に応じた指導計画を考え、必要な内容・時間だけ特別な教育ニーズに応じた指導を受けることができるシステムを整えることと考える。

緑のカーテンに小平市も取り組もう

津本裕子議員(公明) 緑のカーテンに対する市の認識は、実施する際の費用の概算、エアコンの設置との比較は、総合学習として取り組むこと



ほのぼのワールド (小平第四小学校)



現在の給食メニュー